



IMAGINEER

2018年3月期第3四半期 決算短信補足資料

2018年1月31日
イマジニア株式会社
(JASDAQ:4644)

構成

- 決算概況
- 連結損益計算書 2期比較
- 連結売上高及び利益の推移
- セグメント情報
- セグメント売上高の推移
- トピックス

決算概況



(百万円)

	2018年3月期 第3四半期	2017年3月期 第3四半期	対前期	
			増減	増減率(%)
売上高	3,486	2,858	+628	+22.0
営業利益	516	326	+189	+58.0
経常利益	739	389	+350	+90.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	380	233	+147	+63.0
包括利益	428	306	+122	+39.8
1株当たり当期純利益 (円)	39.65	24.33	+15.32	—

	2018年3月期 第3四半期末	2017年3月期末	対前期	
			増減	増減率(%)
総資産	10,279	9,758	+520	+5.3
純資産	9,509	9,242	+266	+2.9
自己資本	9,447	9,205	+241	+2.6
自己資本比率(%)	91.9	94.3	—	—

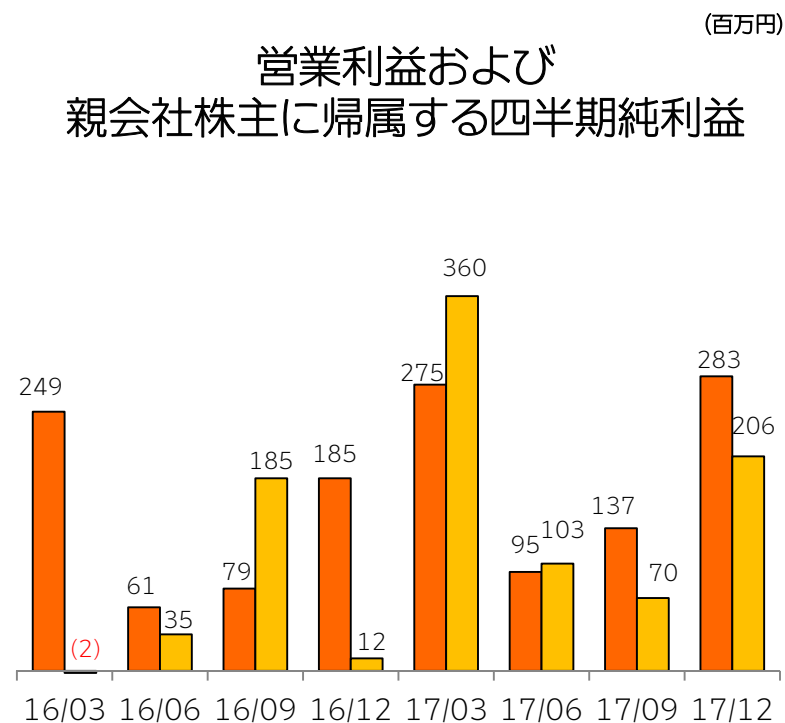
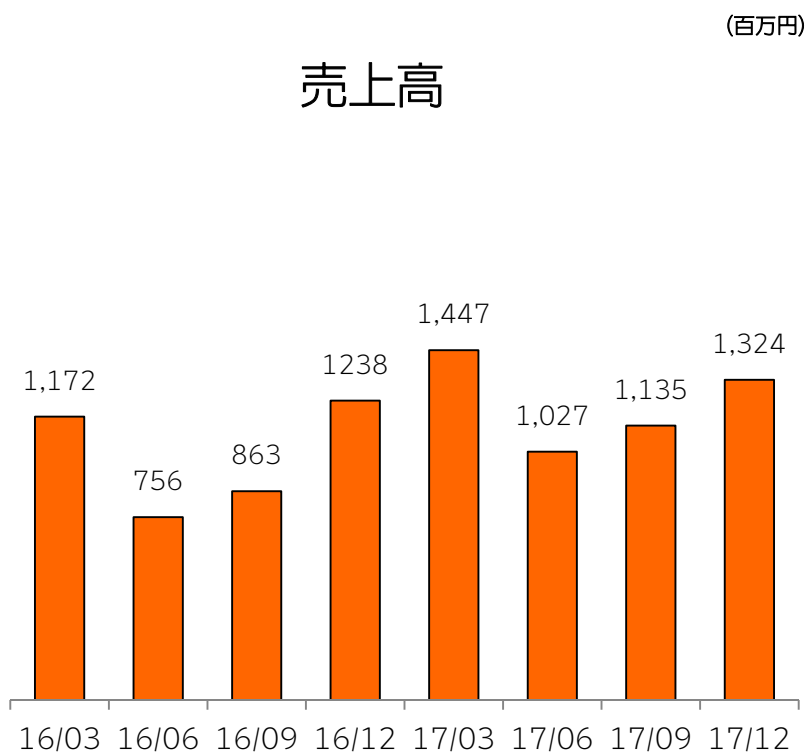
連結損益計算書 2期比較



(百万円)

	2018年3月期 第3四半期	2017年3月期 第3四半期	対前期		
			増減	増減率(%)	主要因
売上高	3,486	2,858	+628	+22.0	海外アニメ/ドラマ配信、ゲームコンテンツの売上の増加
売上原価	1,617	1,317	+300	+22.8	売上の増加に伴う原価の増加
販売費及び一般管理費	1,352	1,213	+138	+11.4	
営業利益	516	326	+189	+58.0	
営業外収益	237	88	+149	+169.0	
営業外費用	14	26	△11	△43.8	
経常利益	739	389	+350	+90.1	
特別利益	0	118	△117	△99.4	
特別損失	122	243	△120	△49.7	
税金等調整前 四半期純利益	617	263	+353	+134.1	
税金費用	261	65	+195	+297.9	
四半期純利益	356	198	+158	+79.7	
親会社株主に帰属 する四半期純利益	380	233	+147	+63.0	

連結売上高及び利益の推移



■ 営業利益
 ■ 親会社株主に帰属する四半期純利益

セグメント情報



(百万円)

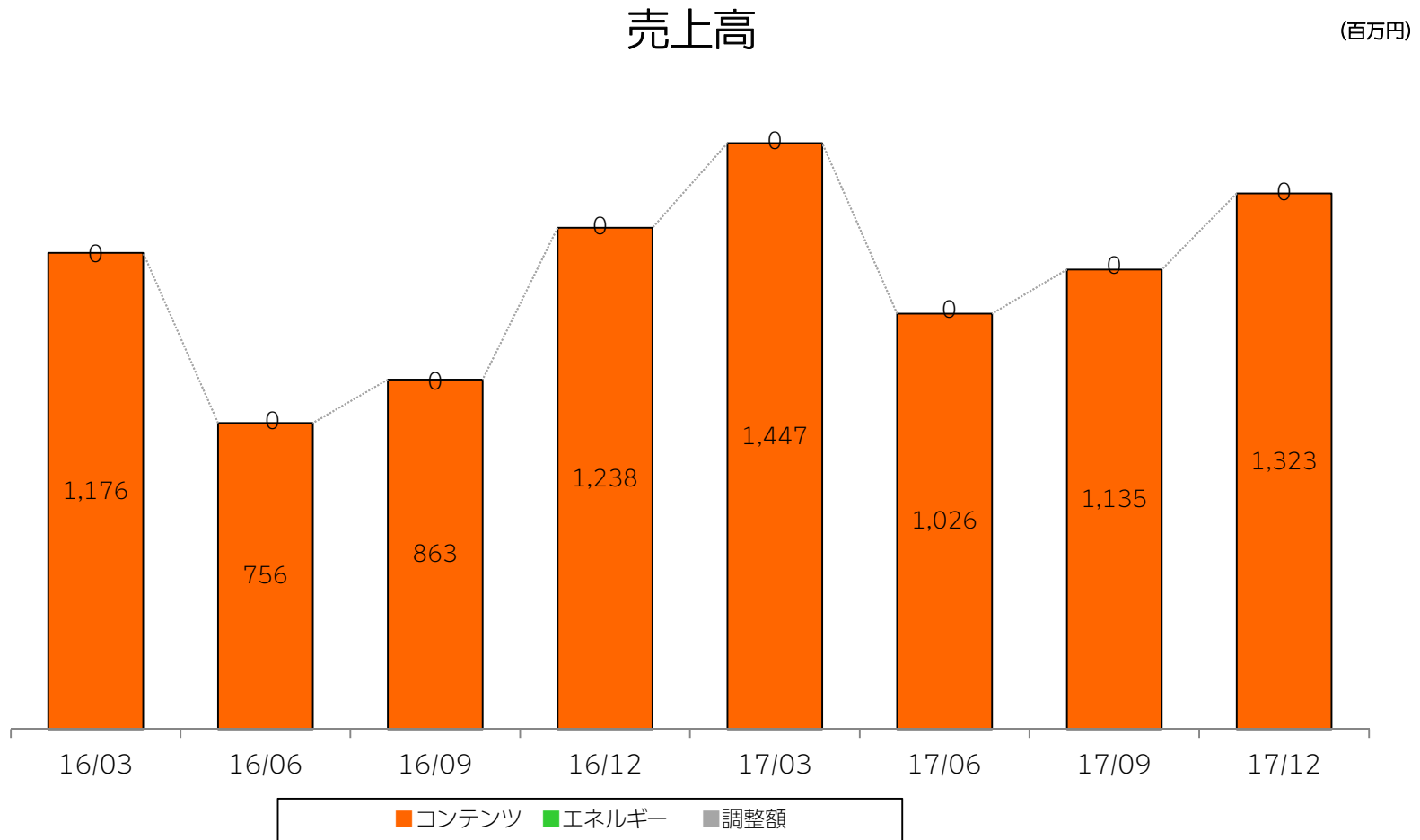
■ 売上高

	2018年3月期 第3四半期	2017年3月期 第3四半期	対前期		
			増減	増減率(%)	主要因
コンテンツ	3,485	2,858	+627	+21.9	海外アニメ/ドラマ配信、ゲームコンテンツの売上の増加
再生可能エネルギー	1	0	+1	—	
合計	3,486	2,858	+628	+22.0	
調整額	—	—	—	—	

■ セグメント利益(営業利益)

コンテンツ	771	581	+190	+32.8	
再生可能エネルギー	△52	△46	△5	—	
合計	719	534	+184	+34.6	
調整額	△203	△207	+4	—	

セグメント売上高の推移



トピックス



メダロット20周年メモリアル作品

ニンテンドー3DS向け「メダロット クラシックス」を2017年12月21日に発売しました。

本作は、累計出荷本数330万本を超える大ヒット作、メダロットシリーズの原点である初代「メダロット」から「メダロット5」までのゲームボーイ™シリーズ5作品を、カブトとクワガタの各バージョンに集約した20周年のメモリアル作品です。

なお、本作が発売されることで、初代から最新作「9」までのすべてのナンバリング作品が、ニンテンドー3DSハードで遊べることになりました。



GooglePlay「ベストオブ2017」 アプリ隠れた名作部門に入賞

当社が株式会社ノース・スターズ・ピクチャーズ及び株式会社コアミックスと共同で配信中のスマートフォン向け漫画アプリ「マンガほっと」が、Google Play「ベストオブ2017」アプリ 隠れた名作部門に入賞しました。

「マンガほっと」は2017年6月のサービスリリース以後、「マンガはまだまだ面白くなる」をキャッチフレーズとして精力的にマンガ作品の制作・配信やデジタルコンテンツ展開に取り組んでいます。



トピックス



業績予想および配当予想の修正

当社グループの更なる成長に向けて注力しているゲームコンテンツに加え、海外へのアニメ・ドラマのコンテンツ提供及びキャリア主導サービスが、計画を上回ったため、売上高、営業利益、経常利益、親会社に帰属する当期純利益とも当初の予想を上回る見込みとなりましたので、2017年5月15日付けで発表した業績予想の修正を行いました。

なお、業績予想の修正をしたことをうけ、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表するとともに、業績、配当性向及び経営環境等を総合的に勘案し、配当予想も修正いたしました。

■業績予想	売上高	営業利益	経常利益	親会社に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	4,000百万円	400百万円	562百万円	400百万円	41円67銭
今回修正予想 (B)	4,525百万円	600百万円	863百万円	472百万円	49円17銭
増減額 (B-A)	525百万円	200百万円	301百万円	72百万円	
増減率 (%)	13.1%	50.0%	53.6%	18.0%	

■配当予想	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	合計
前回予想	—	10円00銭	—	12円00銭	22円00銭
今回修正予想	—	—	—	15円00銭	25円00銭
当期実績	—	10円00銭	—		



IMAGINEER

本資料には将来的予測に関する記述が含まれています。これら記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。多くの要因の変化等により、実際の業績等は、将来的予測とは異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。